

# 西山公園

## 誰でも楽しめる

皆さん、友達の好みに合わせるために、興味がない観光地に行ったことがあるだろうか。自然が好きなのは友達と美術館に行くことがつまらないと感じるかもしれない。あるいは、歴史文化に興味があるのに、友達に山登りに誘われて疲れすぎて旅行の楽しさが感じられないかもしれない。

そのため、一か所でそれぞれの要求を満足させる特別な場所を紹介したいと思う。それが「西山公園」である。自然の風景が好きなら、ここでは四季折々の景色を楽しむことができる。日本文化に興味があれば、ここの特色ある日本庭園がいろいろ。また、動物が好きなら、西山公園には大人気の動物園もある。その上、全てが無料で楽しめる。これから、一緒に見てみよう。

### 西山公園の歴史的建造物

実は、創設されたばかりのころ西山公園は別の名称だった。19世紀に間部詮勝(まなべあきかつ)という鯖江藩の偉い人は、市民の休憩所となるように庭園を作らせて「響陽溪」と命名したそう。しかし、今は西山公園は「西山公園」と呼ばれ、西山公園内にあるいくつかの日本庭園は総称して「響陽溪」と名づけられている。カラフルで美しい鯉を眺めながらゆっくり散歩するのがおススメだ。西山公園の丘陵を少し上に登ったら金比羅宮という神社がある。記念碑によれば、この

神社は1744年に建てられて、老朽化のため1960年に再建されたということだ。神社はなんとも言えない印象を与えているが、実は歴史的な特徴を持つ。第二次世界大戦の間たくさんの方が死んでしまい、その犠牲者を供養するため神社の境内には石碑が建っている。拜殿で手を合わせて世界で起こっている紛争の和解を祈った。このように、歴史と伝統的な日本庭園に興味がある人々は西山公園が楽しめるに違いないと思う。



西山公園の芝生広場はピクニックにぴったり。 撮影者：ガン

西山公園はきれいな自然に囲まれ、福井県の有名な観光地である。季節による自然の変化が楽しめる。日本の全国の季節特集をまとめる「ウォーカープラス」によると、毎年、春になると、約千本の桜が咲くそう。市民が誇りを持っている花見の場所として、市内だけではなく北陸地方の人々に注目されている。それに、ツツジという西日本の花はピンクをはじめ、白、赤など様々な色を合わせて、中心にある芝生の周りに五千株が植えられている。5月ごろ、ツツジが最もきれいに咲く時、つつじ祭りが行われる。

また、暑い夏が終わったら、西山公園に秋の色が現れる。ウォーカープラスによると、ここには1600本のもみじで彩られ、福井県一の紅葉狩りのところである。緑、黄色、赤が混じる時も、真っ赤になった時も目を楽しませてくれる。紅葉と相まって、鯉が泳いでいるのを眺めれば、心が落ち着く。年末になると、公園内の日本風の休憩所の屋根にも雪が積もる。一月に、スノーフェスタがあり、市民と観光客が集まり、ローソクと灯を灯す。一人で行っても、家族で行ってもきれいな自然で過ごすことができる。



響陽庭園の風景。 撮影者：ガン



### 癒し満載の西山動物園

日本一小さな動物園ながら、その内容は豊富である。レッサーパンダもその他の動物も可愛く、癒し満載の西山動物園である。休日は家族や友達とお出かけしてみよう。レッサーパンダが可愛すぎ 西山動物園に来たら、何よりもまずレッサーパンダを楽しもう。西山動物園には、2016年の3月にレッサーパンダのいえができた。レッサーパンダのいえの中には、レッサーパンダがいるゾーンと休憩ができるラウンジがあり、さらに廊下にはレッサーパンダにまつわるパネル展示が多くある。可愛いレッサーパンダを見ながら、知ることができ、大人も子供も楽しめる空間になっている。国際友好交流の動物園 レッサーパンダは中国との

友好交流により北京動物園から寄贈された動物である。それ以外に中国、シベリア、北海道の釧路高原に生息するツルのタンチョウや、ベトナムに生息するテナガザルもいる。留学生たちはここで自分の国の動物を見られるかもしれない。動物や花たちを支える協力箱 西山動物園の入園料は無料である。しかし、門の前ではレッサーパンダのキャラクターが「レッサーパンダやつつじで有名な自然豊かなこの公園を維持していくにはたくさんの費用がかかっています。そこで、この公園を訪れる皆様に心ばかりのご協力をお願いしたいと思います」との控えめなお願いをしている。少なくとも大丈夫であるが、募金してから入ったほうが良いと思う。



西山公園内の動物園

### 西山公園での遊び

「西山公園」という名前を見れば、「山」という字が目立つであろう。確かに、西山公園は山の近くに建てられた。その山は遠いところから見ると低そうだが、実際に公園に入った後、そうではない。道がクニヤクニヤ曲がって、階段も多いので、山登りが体力を消耗する。山腹の「祈りの道」に着くと、道の右側には笑顔の石像がたくさんある。拳を握る像もある。まるで山を登る人に応援するようである。「祈りの道」を歩き終わると、展望台への森に囲まれる小道を踏む。展望台に着いたら、冬の冷たい体も暖かくなる。山登りが大変だが、途中のきれいな景色は目と心を癒してくれる。新

鮮な空気を吸うこともできるので、体にいい。西山公園には山登りだけではなく、ピクニックなどのものである。公園の中に二つの芝生がある。一つの小さい芝生は山の中腹にある。その芝生は三方が木に囲まれて、静かなところである。落ち着いた環境を好む人はそこで、ピクニックしたり、本を読んだりして、いい休憩を取れる。もう一つは、麓にある芝生広場である。そこは賑やかである。天気の良い時、多くの大人は子供をつれてそこへ遊びに行く。もちろんそこでピクニックする若い人もいる。そこは元気で暖かい雰囲気にも包まれるので、私たちも子供たちのように遊びたかった。そこでピクニックをしたり、凧をあげたり、一緒に走ったりすれば、気持ちはずっといいと思う。

西山公園は、様々なニーズを同時に満たすことができ、大人であれ子供であれ、日本人であれ外国人であれ、楽しめる憩いの公園である。留学生である私たちは、忙しい学業から一時的に解放され、登山をしたり、新鮮な空気を吸ったり、木々のほのかな香りを感じたりすると心が洗われる気分になる。自然豊かな美しい景観を見ながら、150年余りの歴史を感じる。疲れた時、友達と芝生広場でピクニックしたり、しゃべったりすることもできる。そして、旅を続ける。もうすぐ週末なので、友達を誘って一緒に西山公園に行こう。

この紙面は私たちが企画、取材、執筆しました。  
記者：ANASTASIIA  
ZHANG XIAOSHUN  
DING YANG  
KTFH BANG NGAN